

「だから、わたしのこれらのことばを聞いて  
それを行う者はみな、  
岩の上に自分の家を建てた  
賢い人に比べることができます。」

マタイによる福音書7章24節

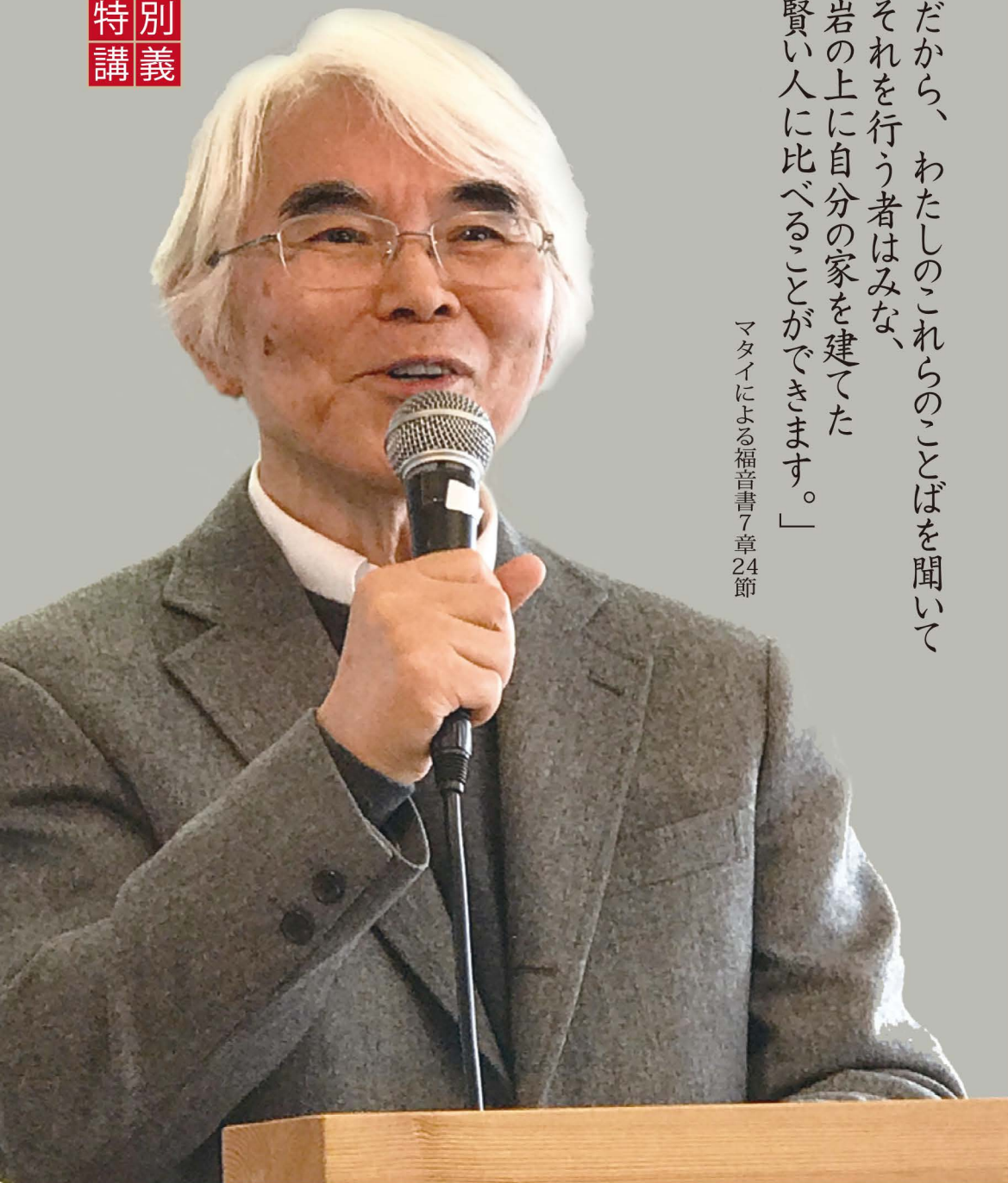
「人生の基礎を築く」

米村 英二 師

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン 聖書学院

2019年4月・5月号 NO.175



# 「人生の基礎を築く」

学院顧問・大津キリスト教会牧師

米村英二師

「だから、わたしのこれらのことばを聞いて  
それを行う者はみな、  
岩の上に自分の家を建てた  
賢い人に比べることができません。」

マタイによる福音書7章24節

## 1. 神の声を聞くこと

イエス様は、マタイの福音書にある「山上の説教」の主要な部分を語り終わられると、最後に聴衆に向けて、こう問いかけられました。「さあ、以上のことを聞いて、あなたがたはどうするか？」

そこには恐らく様々な人たちがいたと思われます。イエスの言葉を、批判的に聞く人、ただ知識として

聞く人、又、自分に語られた慰めの言葉として聞く人など、聞き方はさまざまだったに違いありません。

今の時代の私たちも同じです。日曜日の説教でかならず聖書の箇所が朗読されます。そして、ひとりの説教者が講壇に立って話をします。私たちはその言葉に耳を傾けます。毎週行われている礼拝の風景です。でもあらためて問うてみる必要があります。

イギリスの有名な説教者ロイド・ジョーンズはこう言い

ました。

「日曜日ごとの説教では、必ず聖書の箇所が読まれ、そこからひとりの人が講壇に立って話す。人々はそれを聞く。それはいったい何なのか？そこで何が起きているのか？なぜその人は講壇に立っているのか？彼の目的は何か？なぜ教会は彼をそこに置いているのか？そして人が彼に聞くために来ているのはなぜか？聴衆がときどき自らにそう問うてみるのは、きわめて重要なことである。」

私自身、牧師となり今は講壇に立つことのほうが多いのですが、若い頃は、私も、毎週、説教を聞くために教会に通いました。今も、他の牧師の説教に耳を傾けることはあります。しかし当時も今も、説教者を単なる聖書講演者と考えたことはありません。今日の聖書の箇所はどこか？そこから説教者は何を言わんとしているのだろうか？いや、むしろ、その説教者を通して、神は、私に何を語ろうとなさっているだろうか？少なくとも、私は自らにそう問いながら聞いています。今日の聖書の箇所を読んでも、説教を聞いても、自分の心に語られたものが何もなかったとしたら、言い換えれば、そこに神がおいでにならなかつたら、それは何とむなしい時間だろうと思うからです。

礼拝とは神に出会う時です。神の声を聞く時です。マタイ18章20節には「ふたり三人、私の名によって集まるところに私はいる」とイエス様は仰いました。礼拝が他の集会と違うのはその点にあるのです。さらにロイド・ジョーンズは、説教者とは何かについて、こう語りました。「説教者は神からのメッセージを伝達する。キリストの使者としてそこに立つ。自らは神の道具にすぎないとしても、そこで語られる言葉を通して、聴衆の心を、全人格を取り扱う」そこでイエス様もまた、長い説教の後、「さあ、ここまで聞いてきたあなたがたは、これらの言葉にどう応えるのか？」と問われたのです。

## 2. 見えないものを見ること

イエス様は、「御言葉を聞き行方者」がどのような人かを例えで教えられました。その例えはこうです。二人の人がいました。一人は家を岩の上に、もう一人は砂の上に家を建てました。そしてその後、嵐がやって来ました。その嵐は酷いものでした。雨が降り、

洪水が押し寄せ、そして風が吹いてそれらの家に激しく打ちつけました。その結果、この二つの家はどくなつたでしょう。まず、岩の上に建てられた家はびくともしなかつたのです。しかし、砂の上に建てられた家は、またたくまに崩壊しました。しかもその倒れ方はひどいものでした。

この二つの家とは、二つの人生を意味します。人は岩か砂のどちらかの上に、自らの人生を築くのです。そしてその結果を見るのです。砂の上に建てられた家が崩壊したのはなぜでしょうか？その原因は何でしょうか？雨が打ちつけたからでしょうか？洪水が押し寄せたからでしょうか？それとも風が激しく吹きつけたからだったでしょうか？いいえ！それらはみな、どちらの家にもやって来たのです。それなのに、一方は倒れ、他方は倒れなかつたのです。ですから倒れた原因は、嵐にではなく別の何かにあったのです。それは土台にありました。土台が砂の上か？又、岩の上かによって大きく結果が分かれたのです。土台とは？それは、目に見えない部分です。表面には現れない部分です。しかしそれが全体を支えているのです。

この例えを通してイエス様は私たちに大切な事を教えています。それは、よい土台を築くには、まず、見えない部分を見る目を養うことです。(マルコ13章1節) イエスが弟子たちとともにエルサレムの神殿に行かれた時でした。弟子の一人が言いました。「先生。これはまあ、何とみごとな石でしょう。何とすばらしい建物でしょう。」すると、イエスは彼に言われました。「この大きな建物を見ているのですか。石がぐずされずに、積まれたまま残ることは決してありません。」(2節) 見えるものはいずれ崩れ、無くなります。しかし崩壊しないものがあるのです。弟子たちが神殿に目を奪われていた時に、イエス様は神殿の前で一人の貧しい女がレプタ銅貨ふたつを投げ入れる姿をご覧になっていました。そしてこう言われました。「まことに、あなたがたに告げます。この貧しいやもめは、献金箱に投げ入れていたどの人よりもたくさん投げ入れました。みなは、あり余る中から投げ入れたのに、この女は、乏しい中から、あるだけを全部、生活費の全部を投げ入れたからです。」(マルコ12章41節～44節) 弟子たちが建物の壮大さに感動しているとき、イエスは、ひとりの貧しい女の、献身的態度に感動しておられました。建物はいずれ崩壊しますが、

貧しい女の敬虔な心はいつまでも残るのです。私たちが見ているものは何でしょうか？感動しているものは何でしょうか？その見ているものが私たちの人生の土台となるのです。

### 3. 深く掘ること

揺るがない土台の特徴は「深い」ということです。以前、九州を襲った大きな台風で教会のカーポートが根こそぎ吹っ飛んだ事がありました。それでその事があったので建て直した時には、工事者にもっと基礎を深くしてもらいました。イエスの種まきの例えでも、土の薄いところに蒔かれた種は、すぐに枯れたとあります。それは根が深くなかったからです。ルカによる福音書には、イエス様が弟子たちに「**その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、それから家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せたときも、しっかり建てられていたから、びくともしませんでした。**」(ルカ6章48節)と言っておられます。しかし岩は、だれにもそれとわかるように見えているわけではありません。むしろ地中深くに隠れているかもしれません。ですから揺るがない人生を送る為には、何事に於いても深く掘るという作業を省くわけにはゆかないのです。「父祖たちが物事の根源に関心をもっていたのに対して、現代人は、その成果にのみ関心をもっている」と、ある神学者が嘆いて言いました。

では、深く生きるためにはどうしたら良いのでしょうか。それは、流行に惑わされないことです。そして、何事も早く簡単に手に入れようと焦らないことです。何故なら良いものが育つ為には時間がかかります。ですからその為には移り気ではなく、固い信念を持ち、且つ、忍耐を持って継続していく事が大切です。更に、近くばかりでなく、なるべく遠くを見ることも大切なことです。これは哲学者西田幾多郎が、自分の子どもに書き送った手紙の一節です。

「人は、真摯に努力すべき目的無きより淋しいものはない。すぐ人に迷うてはならぬ。人の甘い言葉は何にもならぬ。深いまじめな努力をせねばならぬ。それがなく薄っぺらな生活から心の淋しさが生じてくる。大きい、深い人にならねばならぬ。君には、何とかしてただ一つのまじめな目的に向かって邁進してもらいたいとのみ、私は思うている。」深く生きよ。

深い人間になれ。薄っぺらはだめだ。真摯に生きよ。そういう内容のことが切々と書かれていました。神の言葉も、私たちの心の深い部分にふれてはじめて力を発揮するのではないのでしょうか。

### 4. 行うこと

よい基礎は正しい行動によって築かれます。イエス様は、わたしのこれらのことばを聞いて「**それを行なう者は**」と言われました。この言葉だけを聞くと、その教えは何か「律法主義」のように感じます。しかしこれは行動主義であって、決して律法主義ではありません。行動主義と律法主義は全く別のものです。律法主義は人を性急に追い立てるものです。しかし行動主義には焦りはありません。神に命じられたことを淡々と行なうだけなのです。コリント書でパウロは「**私は植え、アポロは水を注いだ。大切なのは成長させてくださる神である。**」(コリント13章6節)と言いました。パウロも行動主義の人でした。彼はただ「植える」という自分の役割に全力を注いだ人でした。人の評価など気にせず、ただ自分の役割に忠実であつたら人生はもっと楽で、単純なものとなっていくのです。

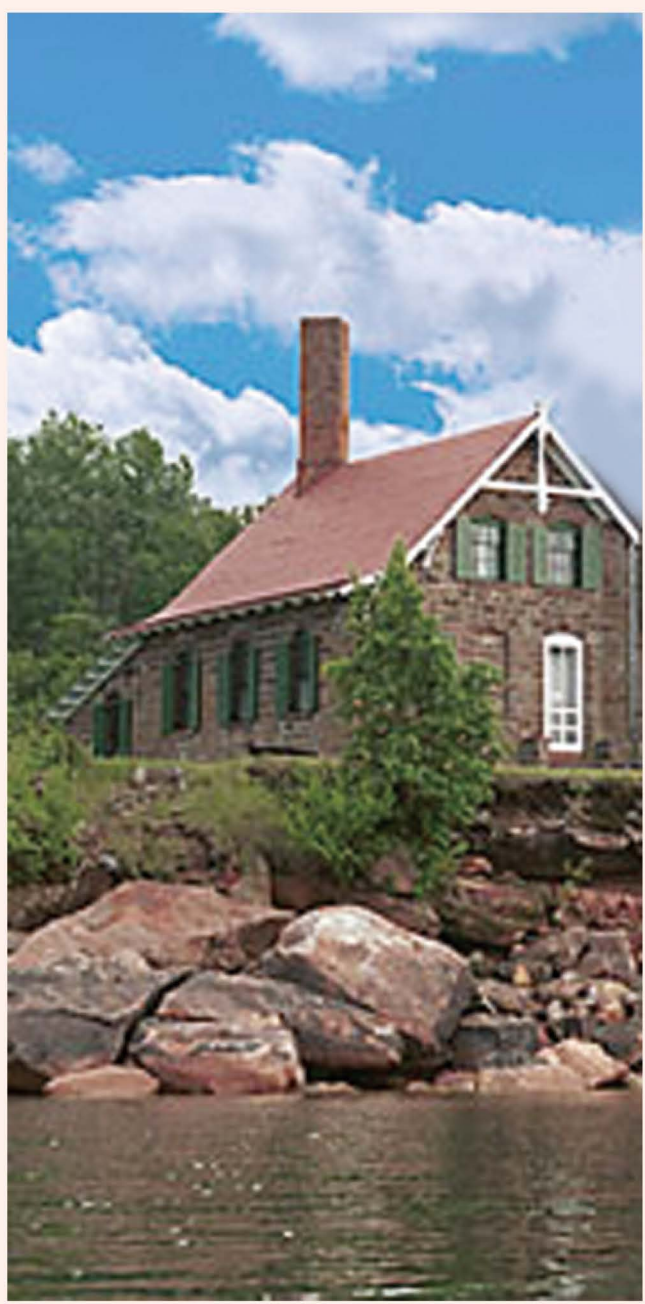
エンデのファンタジー『モモ』に登場するベッポ爺さんは、とてつもない長い道路の掃除を頼まれたときの経験について、こう語っています。「いちどに道路ぜんぶのことを考えてはいかん。分かるかな？つぎの一步のことだけ、つぎのひと呼吸のことだけ、つぎのひとはきのことだけを考えるんだ。いつもただつぎのことだけをな。すると楽しくなってくる。…ひょっと気がついたときには、一步一步すすんできた道路がぜんぶ終わつとる。どうやってやりとげたかは、自分でもわからん。これが大事なんだ」

ここに自分の力や努力によってではなく、上よりの力によって行なう道が示されているように思われるのです。

最後に、行動で大事なことは、直ぐに始めることです。私もいろいろと思い悩んだり、考え込んだりする時があります。そんな時は、「さあ、実行だ！」と自分に言い聞かせ、立ち上がって目の前の仕事に取りかかる。庭の草取りであれ、部屋の掃除であれ、書くべき手紙であれ、週報や説教の準備であれ、とにかく、やり始める。すると何かが進んでゆく。そこ

から充実した喜びがわいてくる。私とキリスト教との出会いも同じだったと思い出します。私はそれまで小さな働きを軽んじて、自分には、もうこんな人生しかないのかと悔やみながら生きていました。しかしイエスと出会って、どんな小さな働きにも意味のあることを知りました。私の走るべき行程を神が定め導いてくださっているのであれば、成すべき事はただ一つ。それはただ目の前にある今日の仕事に励めば良いのです。こうして私の人生はよりシンプルになり、私はより行動的となってきたのです。

「だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。」 マタイ7章24節



# CD販売・刊行物

●お申し込みは／学院事務局まで

※サンプルは、下記のページで聴くことができます。

<http://www.cfnj.com/media.html>



「神の指がふれた時」

定価／1枚 (CD)  
(送料別) **700 円**



「神のみことばのいやしの力」

定価／1枚 (CD)  
**1,000 円**  
(送料別)

CFNJ小冊子  
無料プレゼント!



●お申し込みは／学院事務局迄

「聖霊のバプテスマを受けるには」  
(ゴードン・リンゼイ著)

「いよしの信仰」 (ゴードン・リンゼイ著)

「山をも動かす祈り」(ゴードン・リンゼイ著)

「主の恵み尽きることなく」  
(鍛冶川 紀子著)

# CFNJ 2019年度 1学期

## 入学式

●日時：2019年4月15日(月)  
午前9時より

## ゲストスピーカー&



### チェ・ドクシン師

●韓国出身の音楽伝道者。少年期を日本で4年間過す。宣教師として2017年から家族と共に日本に在住。チェドクシンミニストリー主宰。

4月26日(金)  
2・3時間目の2時間



### 久保田 文吾 師

●東京出身。キリスト教メディア「リバイバル新聞」元編集長。渋谷「キングダムシーカーズ」開拓牧会中。「文吾塾」主催。

6月4日(火)～7日(金)  
1・2時間目の2時間



### 池原 仰一 師

●沖縄プレイズチャーチ牧師。ファイヤータイフーンの代表牧師。YFNメインゲストスピーカー。

5月2日(木)～4日(土)



### ピーター・ツカヒラ師

●カルメル集会(イスラエル、ハイファ市)の共同設立者、牧師。カルメル山スクールオブミニストリー校長。

5月8日(水)  
1～3時間目の3時間

●ピーター氏の略歴：1950年アメリカのボストンで日系二世の両親のもとに生まれる。父の仕事の関係で十代を日本で過ごす。カリフォルニアでヒッピーをしていた20歳の頃、イエスに出会って救われる。1973年にCFNI(Dallas, Texas)入学。Tufts大学で経済を学んだ後、神学の修士号を取得。1982年にユダヤ人の妻と日本に転居。後、東京で教会と同時にビジネスマンとして働く。1987年に妻と娘と3人でイスラエルに移住。カルメル集会を開拓する。世界中から多くの信徒が訪れている。現在、師は、世界中の教会や団体から招かれ、特にイスラエル、神の王国のテーマについて、啓示的に力強く教えている。著書に『神の津波 日本、そしてイスラエルへ』『天国の文化』『My Father's Business』(未訳)などがある。

## ピーター・ツカヒラ師セミナー

### ●日時/5月7日(火)

●第1回目：午後3時～ ●第2回目：午後7時30分～

### ●場所/グレイスコミュニティー

札幌市手稲区曙2条2丁目4-15 Tel:683-5523  
<入場無料(席上献金あり)> どなたでもお越しください。

### ●日時/5月8日(水) <入場無料(席上献金あり)>

●時間/午後2時～4時

### ●場所/CFNJ 聖書学院

### ●主催/合同賛美祈り会



ピーター・ツカヒラ師

# 授業カリキュラムスケジュール

2019年4月15日(月)～7月5日(金)迄



## ジェラルド・チェスター師

●ストラテジーズ@ワーク社社長。マネジメント・コンサルティング会社を経営。『バベルを越えて』を出版。家族は妻と、2人の娘、2人の義理の息子たち、そして3人の孫。現在、テキサス州ソージョーン教会で長老として仕える。

6月17日(月)～21日(金)  
1・2時間目の10時間



## ティム・ホンサレック師

●CFNI卒。プロフェッショナル、ボイストレーナーとして有名歌手の指導を手掛ける。ワーシップミニストリーや講師として世界各地で活躍。学院創立者、グリコ夫妻の長女、クレアさんの御主人。

6月17日(月)～19日(水)  
3時間目の3時間



## キース・バンクス師

●CFNI卒。講師。インターナショナル・クリスチャンチャーチ・ユース英語担当牧師。プロドラマー。

6月20日(木)・21日(金)  
3時間目の2時間



## 有賀喜一師

●フラー神学大学卒。牧師であり、伝道者、神学校教師。全日本リバイバルミッション代表。超教派の聖会で講師を務め、複数の神学校で教鞭をとる。学院顧問。

7月1日(月)～4日(金)・5日は、卒業式。  
2・3時間目の8時間

## 1・2年コース(必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
<b>1</b> AM8:45～9:40	旧約聖書概論Ⅰ 金聖圭	児童教育とミニストリーⅠ アルマ・ベルメホ	使徒の働きⅠ 田中博	ヘブル書 長沢克己	日本人の生活と聖書 松原望
<b>2</b> AM10:00～10:55					
<b>3</b> AM11:05～12:00	信仰の土台 坂本清憲	祝福される人生設計 堀本正美	世界教会史Ⅰ 鍛冶川利文	世界教会史Ⅰ 鍛冶川利文	信仰の土台 坂本清憲

## アルプスコース(必修科目)

<b>1</b> AM8:45～9:40	牧会論 田中博	牧会カウンセリングⅠ 小栗昭夫	パウロの生涯 アルマ・ベルメホ	ヨブ記Ⅰ 石田吉男	五役者の学び 岡田好弘
<b>2</b> AM10:00～10:55					
<b>3</b> AM11:05～12:00	弟子訓練 金聖圭	ティスカッションクラス 鍛冶川利文	弟子訓練 金聖圭	聖書釈義Ⅰ	松原望

## 選択科目

<b>午後</b> PM13:00～15:00	ワーシップドラマクラス 仲宗根昇平	タンバリンクラス 鍛冶川紀子 英語クラス クリストベリ	ボイストレーニング 新井田路子 ピアノクラス 新井田路子	実習 (必修)	ドラマ演劇クラス 鍛冶川紀子
----------------------------	----------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	------------	-------------------

# 久保田文吾師による、「教会開拓スクール」開催のお知らせ！

「町を祝福する教会開拓スクール」会場 / CFNJ 聖書学院

- 開催日程：2019年6月7日（金）、8日（土）\*金曜日は夜のみの講義。
- 宿泊：参加費別途、お一人様 3,000 円で、7日（金）～8日（土）、1泊宿泊することが可能です。  
\*宿泊の部屋数には限りがありますので、宿泊が出来ない場合にはご了承ください。
- 講師：久保田文吾師（キングダムシーカーズ牧師）  
坂本清憲師（CFNJ 聖書学院 講師兼スタッフ）
- 講義トピック一覧：
  - ・開拓リーダーシップ
  - ・霊的な親子関係の形成
  - ・御国の回復のプロセス
  - ・天の御国の鍵とダビデの鍵
  - ・世からの好意を管理する
  - ・御国の経済循環
 その他、ディスカッションや質疑応答の時間あり。
- 参加費：3,000 円 学生割引あり。  
（大学生、神学生）1,500 円  
\*食事は各自にてご用意願います。近隣には、いくつか飲食店もございます。
- お問い合わせ先：Tel：0133-74-1341 Mail：office@cfnj.com 担当／坂本清憲

## 〈久保田師より挨拶文〉

人を、町を、国々を祝福していく天の御国の大使館、それが教会です。教会開拓という全宇宙でもっとも崇高な召しを達成していくため、油注ぎと戦略を共有していきましょう。十の町を任せられたしもべのように、主はご自身の教会に、社会の多くの領域を任せようとしています。あなたにとって、このスクールが、教会開拓を超えた御国開拓への扉が開かれる機会となりますように！



久保田文吾師

## 祝、入学

2019年1月15日（火）、午前9時より、2018年度3学期からの入学式が執り行われました。この日、アルプスコースへの進級生1名、2年コースに1名の、合計2名の新生が新たに学びをスタートしました。これからの学び、訓練、歩みの為にお祈りをよろしく願います。



アルプスコース  
上山リエ

■アルプスコースに進学しました！正直勢いです！やるなら最後までしっかりとやりたい！と思ったのがきっかけでした！そして信仰を持って「やる！」と決めた時、祝福の扉が開かれました！それは神様からの大きなしるしや預言、奇跡というよりは、進学する私に対するの応援や祝福の言葉、祈りなどでした。祝福の元で進学することほどに平安なことはないなと思い、ぶれることなくアルプスコースへ進みました！神様はしっかりと私たち自身の意志を求めている、そして私たちと一緒に働くのが大好きな方であることをもう一度思い出させてくれました！神様の召しを愛して生きたいと思えます！



2年コース  
ハンダ・ダニエル・ケンゾ

■僕がこの CFNJ 聖書学院に入学する事ができた事に主に感謝しています。そして 聖書学院の入学を助けてくれた、僕の両親と母教会の兄弟姉妹に感謝しています。この学院に入って思った事は、どんな時でも主に期待して、信じる大切さを学びました。そして主を本当に愛する学院生、先生方、そしてスタッフのみなさんと交わり、共に生活する素晴らしさを体験する事ができました。これからの3年間の学びの生活が楽しみです。主を賛美します。





開催のお知らせ！

# YFN

# 2019 のご案内

## ユース・フォー・ザ・ネーションズ・ジャパン

YFN2019のテーマは、「10シティーズ」です！  
ルカの福音書19:17より、「10の町を支配するものになるです！

「主人は彼に言った。『よくやった。良いしもべだ。あなたはほんの小さな事にも忠実だったから、十の町を支配する者になりなさい。』」  
(ルカ19章17節)

●日程／2019年5月2日(木)～4日(土)(2泊3日)

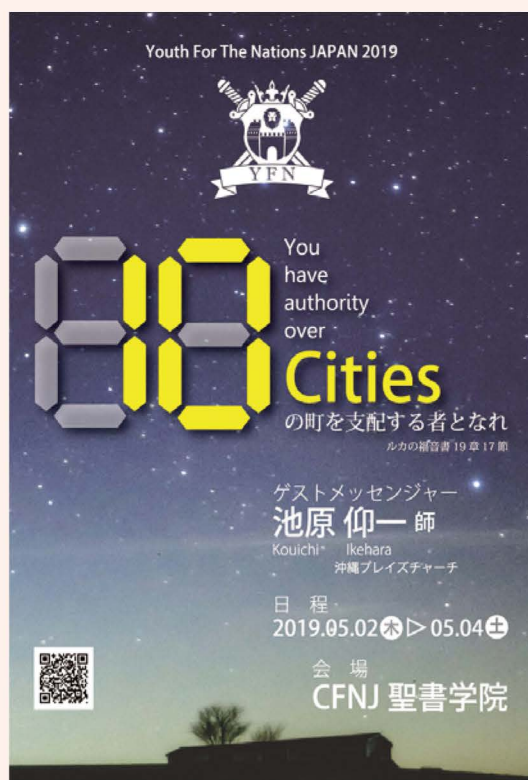
●会場／CFNJ 聖書学院

●ゲスト・メッセンジャー／池原 仰一 師



【プロフィール】 (沖縄ブレイズチャーチ)

沖縄生まれ沖縄育ち。妻と息子と娘の4人家族。2009年に沖縄実践神学校を卒業し同年より沖縄ブレイズチャーチのユースパスターとなる。2003年より沖縄でスタートした超教派ミニストリー『ファイヤータイフーン』の働きに初期の頃から携わり、現在その代表牧師として沖縄の若者と手を取り合いながら賛美集会等の活動を中心に次世代の立て上げに励んでいる。またOPENGATEなどの賛美のミニストリーにも携わり「栄光から栄光へと」、「主の教会よ」など賛美の作詞作曲も手がける。



●YFN スケジュール／

	5月2日(木)	5月3日(金)	5月4日(土)
15:00～	受付&開場	10:00～12:00 10の町集会②	10:00～12:00 分科会③④
16:00～18:00	YFN オープニング	13:00～14:45 レクリエーション①	13:00～14:15 レクリエーション②
19:30～21:30	10の町集会①	15:00～17:00 分科会①②	14:30～16:30 10の町集会④
21:30～22:00	オリエンテーション	18:30～20:30 10の町集会③	16:30～17:00 クロージング
			17:00～ 解散

\* 5/4(土)の夕食の用意はありません。

●参加登録費／ 中学・高校生 (13歳～18歳) / 1,500円 \*当日参加登録費用 / 2,000円  
大学生 (19歳～) 以上 / 2,500円 \*当日参加登録費用 / 3,000円

●宿泊費／ 1泊 / 1,000円 **食事代** 朝 300円 / 昼 500円 / 夜 500円 (各1食分)

全日参加費用例：◇中・高生 参加費 1,500円 (保険料 300円込) + 宿泊費 2,000円 + 食事代 2,600円 (全日計 6食) = 6,100円

◇大学以上 参加費 2,500円 (保険料 300円込) + 宿泊費 2,000円 + 食事代 2,600円 (全日計 6食) = 7,100円

●お申し込み方法／ \*参加登録書をメールまたはFAXにて送信後、参加費用等の合計額を下記の口座へお振込みください。  
\*参加登録書はWEBページからもダウンロード可能です。

**申込み締切** 2019年4月19日(金) 必着・締切日以降の返金、当日の食事の申込みは受付出来ませんので、ご了承ください。・部分参加(参加登録費用のみ)も可能です。

【振込先(郵便振替口座)】 [加入者] ユース・フォー・ザ・ネーションズ [口座番号] 02740-9-45149

<主催・企画> ユース・フォー・ザ・ネーションズ JP (CFNJ 聖書学院 事務局内) ■ 問合せ TEL 0133(74)1341 FAX 0133(74)1343 Eメール: office@cfnj.com



# 祝、卒業・修了!



■このたび、ALPS コースを卒業するにあたって改めて感動するのは、主の恵みと真実です。どんなことがあっても主の恵みは私を追い、どんなことがあっても主の真実は変わらない。その事実が私の土台となり、アイデンティティーとして築かれて行った三年でした。主のために人生を捧げられるのはこの上もない喜びです！ハレルヤ！**2年・アルプス卒業 清野耕地**



CFNJ オーディネーションチームにより、握手礼を受ける清野耕地兄弟



■私はこの学院での二年間の学びを終えました。様々な事を学びました。「神により頼むこと」「神の前で遜ること」又、「神の前で生きる喜びを毎日実感すること」などでした。これらは何か深い啓示とかというより、とてもシンプルなことばかりでした。でもそれが私にとって必要で、最も大事なことでした。学院のスタッフの方々、そして、学院に毎日来てくださった先生方。様々なお世話や、情熱のこもった日々の授業を本当にありがとうございました。先生方の授業を通して、私の心に御言葉を学ぶ喜びを沢山戴きました。学院長ご夫妻も、いつも見守ってください、本当にありがとうございました。CFNJ 聖書学院に大きな祝福がありますように。God bless ! **2年卒業 本郷真之介**



■ハレルヤ！主の御名をはめたたえます。入学した時は、2年間の学びを終える事が出来るのかと心配していましたが、2年という日は、あっという間に過ぎ、本当にたくさんの事を得ました。先生方の慰め、励まし、大切な仲間の支え、そして何よりも私を愛し、力ある主が支えてくださって、このように卒業できた事を心から感謝します。これからも私を支えてくださる主に信頼して歩いていきます。ありがとうございました。**2年卒業 高谷美里**



■この2年間は思いもしないほどの恵みと祝福の時間でした。『聖書学院に入れば沢山知識がついて色々なミニストーリーができるように整えられるんだ』なんて思っていました。ですが、むしろ逆に自分に死ぬこと、弱さと向き合うことを通して訓練されていました。私自身がどのような状態であったとしても、いつも主は賛美を受けるにふさわしいお方です。これからも主を褒めたたえ続けていきたいです！感謝します！ハレルヤ！！ **2年卒業 船曳千尋**



■3月8日（金）、午前9時より、ゲストに学院顧問であり、新宿シャローム教会主任牧師の「稲福エルマ師」をお迎えし、2018年度、3学期の「卒業、修了式」が執り行われました。この日、卒業生7名、修了生1名の計8名の学生が学び舎から旅立ちました。この日の為に道内外から、卒業生の牧師、ご家族、並びに諸教会から合計70名程がお祝いに駆けつけてくださいました。卒業する学生たちは、皆、一人一人ステージに上がり、これまでの恵みの感謝とともに、これからの御国の働き人としての抱負を語りました。この日は、式の中で、「清野耕地兄」の按手礼も執り行われました。



式の後、在校生からの祝福のエールが贈られ、ドラマクラスの「ダビデ王」の上演もあり、盛りだくさんの祝福の時となりました。卒業・修了した8名の学生の為に、これからもお祈りをよろしく願いいたします。



■北海道の地で学べた事、多くの戦友に出会わせてくださった事を主に感謝します。この2年間は、すべてにおいて主に信頼しているかと問われ続けられました。しかし振り返ると、どんな時でも主のあわれみと恵みは、私を追って来ていたと感じます。ハレルヤ！卒業してもなお、主の御言葉に立ち返る者、霊とまことによって礼拝する者として成長していきたいです。学院で、教会で出会った方々、本当にありがとうございました！！ **2年卒業 田島忍**



■この2年間で沢山のことを学びました。又、神様の心を感じることができました。そのプロセスの中で癒しがあり、人を愛すること、愛さずにはいられない心を知りました。自分は取るに足らない存在ですが、そんな私を神様は義と認めて信頼してくださいました。これから、この学院での毎日の生活が無くなると思うとひどく寂しいですが、神様と共にここからスタートを切りたいと思います。 **2年卒業 船曳志織**



■2年間の通学を支えてくださった神様と家族、友人、先生方に感謝いたします。学生生活を通じ、いくつも新たな経験ができました。朝の祈りと賛美でスタートした日々は、大きな恵みであり貴重な時でした。私が受けた恵みと学びを、日本のリバイバルの道備えのために、これから用いていきたいと思ひます。 **2年卒業 品田由佳**



**1年修了  
及川 ラファエル**



# アメリカ・ダラス市のクライスト・フォー・ザ・ネイションズとの提携姉妹校

ホームページをご覧ください!

**cfnj.com**  
 随時願書受付中!

## 新入生募集中!

2019年9月(2学期)・2020年1月(3学期)から入学できます。



**無料体験入学  
 実施中!**

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。



- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース ●1学期だけの短期で学ぶ事も可能です。



■SNSでCFNJの最新情報を  
 ・Facebook: @CFNJBS  
 ・Instagram: CFNJ 聖書学院



### 学院の特徴

- ・臨在溢れる賛美礼拝
- ・御霊に満ちた講師陣
- ・実践的なカリキュラム
- ・国内外のアウトリーチ
- ・独身寮・家族寮完備
- ・アメリカ留学編入制度
- ・多彩な選択課目

### 選択課目

- 演劇クラス
- ピアノクラス
- ワークショップドラムクラス
- 英語クラス
- ヘブル語クラス
- ボイストレーニングクラス

### 2018年度CFNJ会計報告(2018年4月～2019年3月)

収入		支出	
前期繰越	6,327,207		
KF献金	11,342,914	給与手当	15,509,828
ボイラー献金	0	謝礼金	1,065,250
団体献金	2,688,558	対外献金	437,012
個人献金	2,438,580	水道光熱費	6,414,354
授業料収入	4,846,250	旅費交通費	959,209
寮管理収入	7,136,750	印刷費	426,442
食費収入	1,655,733	通信費	873,782
その他の収入	588,611	消耗品費	568,377
		火災保険	300,330
		修繕・維持費	1,323,386
		食費(材料費)	1,993,196
		広告費	120,040
		法定福利費	2,161,777
		その他の支出※	1,648,233
		支出合計	33,801,216
収入合計	37,024,603	次期繰越	3,223,387
	37,024,603		37,024,603



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

# CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
 (0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688  
 ●e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

